

第99回全国高校サッカー選手権大会福井県大会 新型コロナウイルスに対して

新型コロナウイルス渦の中行われる本大会を、円滑に運営していく上で以下のことに注意して頂きたいと思えます。

基本指針

- ・ 県民行動指針に基づき、感染防止対策に準じて行う。
- ・ (一社) 福井県サッカー協会 活動再開に向けたガイドライン (別紙) に準じて行う。

感染対策基本

「3つの条件 (三つの密)」を避ける」

- ① 「換気の悪い密閉空間」
- ② 「多数が集まる密集場所」
- ③ 「間近で会話や発声をする密接場面」

各チームの選手及び役員に新型コロナウイルスの感染者が出た場合

- ① 当該チームは、専門部に直ちに連絡をするとともに活動を停止し、その後の活動については協会および、専門部と協議の上、判断を専門部に委ねることとする。
- ② 当該チームの感染が確認された日からさかのぼって、この間に対戦もしくは同一会場を使用したチームについては、感染拡大防止の観点から、専門部の判断により活動を停止することがある。
- ③ ①②の該当チームは、専門部の判断により不戦敗とすることもある。

各チームの選手及び役員並びに選手及び役員の家族が濃厚接触者として特定された場合

- ① 当該の選手及び役員活動を新型コロナウイルス感染者と最後に濃厚接触した日から起算して原則14日間の活動停止とする。
- ② 各チームの選手は試合当日に自宅で必ず検温を実施すること。
- ③ 各チームにおいては、会場到着時に選手の健康観察 (発熱の有無、咳や喉の痛み風邪症状の有無、嗅覚や味覚の異常の有無等) を行い、体調に少しでも異常がある場合は参加を見合わせるなどの対応を取ることとする。
- ④ 検温をしていない選手については検温を行う。なお、平熱を超える発熱 (概ね 37.5 度以上) がある場合は、自覚症状の有無に関わらず、出場及び会場での活動は認めない。

今後について

- ①今後の福井県内における新型コロナウイルスの感染状況や全国の状況等を踏まえて、安全な実施が困難である場合は、事前及び開催期間中でも大会中止の措置をとることがある。

試合について ※ガイドライン抜粋

- ①ミーティングは、換気が可能な場所において、選手が密集しすぎないように配慮をするとともに、できるだけ短時間で行う。
- ②チームベンチでも、役員、控え選手は間隔を空けて座り、会話を控える。
- ③セレモニーにおける握手は行わない。
- ④試合前の写真撮影も間隔を空けて行う。
- ⑤両チームベンチへの挨拶は行わない。
- ⑥クイズボトル・水筒等は個人で準備するようにし、共有しない。

観戦について

- ①会場内では、マスクを着用し、3密を避け、間隔を空けて座る
 - ②大声を出しての応援は控えてもらい、拍手での応援を促す。
 - ③メガホン、拡声器、太鼓等の道具を使っての応援は禁止とする
- ※拍手での応援をよろしくお願いいたします
- ※放送設備がある場合は、上記を何回もアナウンス致します

提出書類

- ①チームごとに健康チェックシート（別紙）を活用する。（保管は各チームで）
 - ②丸岡スポーツランドおよび三国運動公園人工芝グラウンドを使用するときには、誓約書（別紙）を2部、本部に提出すること。
- ※福井県サッカー協会「2種高校年代→第99回全国高等学校サッカー選手権福井県大会」に添付されている資料をダウンロードしご利用ください。
- ※テクノポート福井スタジアム使用については後日連絡する。

以上のことを「大会指針」とし、感染対策を徹底して円滑な大会運営を行い、素晴らしい大会にしていきたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。